



雨の日も楽しいね

ごっこ遊び・生き物のお世話・絵本.....



子ども達は遊びを考える天才ですね。どんな天気の日にもどんな場所においても、すぐに自分のしたいことを見つけて遊び始めます。ある雨の日、10人の子ども達は、それぞれ何を見つけたのでしょうか。

元気な声が聞こえてきます。遊戯室には大型積み木やトランポリン、トンネルなどが出されており、

子ども達は思い思いに体を楽しんでいます。トンネルを這いながら通っているうちに動物の真似が始まりやがて“ねこごっこ”へ・・・大型積み木は素敵なお家になっているようです。

さくら組さんではダンゴムシを、大きい組さんではカタツムリを飼っています。ダンゴムシは枯れ葉を食べ、湿った土が好きということで、3歳児なりにできるお世話を続けています。すっかり仲良しになりました。雨の日のカタツムリはとても元気！活発に動



き回る姿に子ども達はびっくりです。また、こんな日は絵本コーナーが賑わいます。好きな絵本を手にとって絵を楽しんだり、読み聞かせをしてもらったり。数人でワイワイ楽しめる「ミッケ」も人気があります。



ながぐつ・カッパ うれしいな！

大人にとっては何となく憂鬱な気分になる雨の日。長靴やカッパを着て出かけるなんて・・・とってしまいます。でも、子ども達にとっては、雨降りの日も楽しい日になるようです。「濡れるから早く中に入って～」とか「もう帰るよ～」という大人の声を聞き流して、雨に打たれる音を感じたり、水たまりを観察(?)したり、じゃぶじゃぶ歩いたりする姿はまるで小さな小さな科学者や冒険家のように。雨の日ならではの楽しみを十分に味わう子ども達でした。

